

効果的な掃除の方法

家の中には、いつもきれいにしておきたいと思いつつもなかなか手がつけられず、結局年末に後まわしになってしまう、という場所があります。例えば、ガスレンジ、台所の換気扇、網戸などの窓まわりなどが掃除の苦手な場所といえるでしょう。これは、実は日ごろから掃除ができていないため、汚れがたまる→少々の掃除ではきれいにならない→さらに汚れる・・・という悪循環の結果といえます。

しかし、掃除の達人は、そういった場所も「簡単な掃除の基本を知っていれば、汚れも簡単に落とすことができ、やる気もおきて、どんどんきれいになっていく」と言っています。

掃除が苦手でも、これを読めばもう大丈夫。さあ、掃除の基本を身に付けましょう。

■ガスレンジ

ガスレンジの焦げ付き汚れは、重曹を使った煮洗いが効果的です。焦げ付きが柔らかくなり、落としやすくなります。

【基本の手順】

- ① 大きな鍋に水を入れ重曹を加えます。
- ② 五徳や受け皿、グリルなどを入れ、10分ほど（落ちにくい汚れは1時間ほど）煮て水洗いします。

■台所の換気扇

換気扇の掃除は、つけ置き洗いがコツ。洗剤は市販の専用品ではなく、身近にあるもので十分です。

【基本の手順】

- ① 酸素系漂白剤（弱アルカリ性）カップ2/3杯と、食器洗い洗剤（中性）スプーン2杯を混ぜ、つけ置き洗剤を作ります。
- ② 換気扇の部品を外し、ひどい汚れは割り箸で削り落とします。
- ③ シンクや大きな入れ物の中にごみ袋を敷き、その中に50度ほどのお湯を入れてから、①を加えて溶かします。その中に部品を1時間ほどつけて置きます。
- ④ 歯ブラシで汚れを落としたあとに、水洗いします。

Point

アルカリ性の油汚れ用洗剤でつけ置き洗いをすると塗装まではがれることもあるので注意。

モーターなどの電気系の部品は、つけ置き洗い不可。

■網戸

外して洗うのが理想ですが、無理な場合は、塗装用のコテバケを使うといいでしょう。住居用洗剤を入れたぬるま湯にコテバケをつけて絞り、網に上下または左右に塗ります。そして、しばらく放置した後、固く絞った雑巾で拭き取ります。汚れのひどいときはこれを繰り返しましょう。

■窓ガラス

窓ガラスの汚れは、一般的にはガラスクリーナーを吹きつけて拭き取りますが、「スクイージー」を使うのが一番効果的です。スクイージーとは、ガラスから余分な水分や汚れを取り除くためのゴムベラです。この場合も洗剤は普段使っている住居用洗剤を使います。仕上げに新聞紙を丸めてから拭きすると、印刷インクがワックス代わりをしてくれます。

【基本の手順】

- ① 1%に薄めた住居用洗剤を霧吹きで窓ガラスに吹きつけ、スポンジでのばします。
- ② 窓ガラスの左上から右へとスクイージーを浮かせないように引き、枠の手前で止めて、スクイージーのゴム部分の水を拭き取ります。
- ③ 同じように下段へと進み、下まで引いたら、右側の残した部分を上から下へと引きおろします。

Point

スクイージーを使って、汚れやスジを残さずに窓ガラスを綺麗に仕上げるには、スクイージーの角度が大切。

- ・スクイージーのゴムが硬い場合は、ゴムを寝かせ気味に動かす
- ・スクイージーのゴムが柔らかい場合は、ゴムを起こし気味に動かす

■ブラインド

ブラインドのほこり汚れは、軍手を使います。ポリエチレンの手袋をした上に軍手をはめて、指先に住居用洗剤をつけて拭いた後、軍手を水洗いして水拭きをします。そのあと、乾いた軍手でから拭きします。

■知っておきたい掃除の裏技

項目	裏技
やかんの湯垢	少量の酢を入れた濃い塩水に一晩つけ置き、翌日スチールウールでこすり落とす。
コップ・急須の茶渋	みかんの皮に塩をまぶしてこすり取る。布に水を含ませた重曹をつけて磨く。
金属磨き	布に練り歯磨きをつけて磨く。狭いところは先をつぶした爪楊枝を使う。銀製品は重曹を使う。
まな板	レモンの切れ端でこすり、漂白する。
フキンの黒ずみ	カップ1杯の水にレモン半分とフキンを入れて煮る。
台所排水パイプの詰まり防止	1か月に1回、重曹と塩をカップ1杯ずつ排水パイプに入れ熱湯を注ぎ流す。

洗剤の成分や道具などの知識や、基本の手順や要領を身に付けると、家庭にあるものを上手に活用することができます。そして、一度掃除をしてきれいになれば、それが励みとなってもっときれいにしようという気持ちになります。さあ、さっそく試してみましょう。